

発行 京都府向日市役所 (向日市寺戸町中野20)
編集 広報広聴課
電話 075(931)1111

おもな記事

- 保育料適正化をめぐる「意見を聞く会」開かれる(一ページ)
生活不用品をあなたに(二ページ)
自治功労者を表彰(三ページ)
くらしのひろば(四ページ)
秋の催し(市民会館、中央公民館)

保育料適正化に関する意見を聞く会 活発な論議を展開

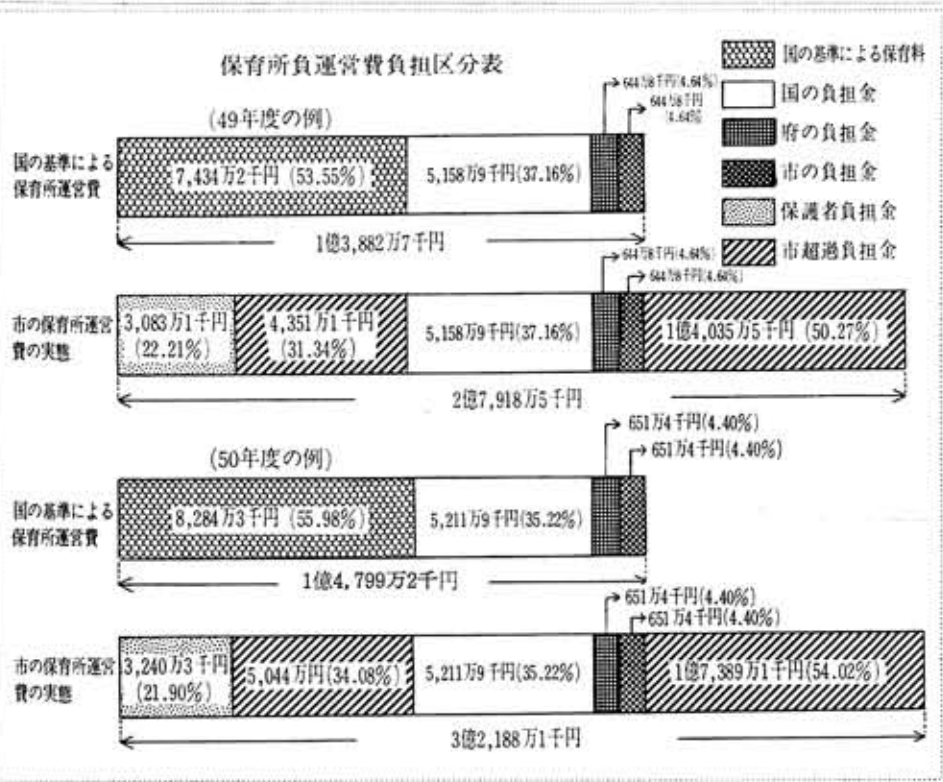


「意見を聞く会」は、九し進めてきましたが、現行月十八日午後七時から市役所のままで、どうすることもできなくなった状況の中、市議会、各種団体の代表者など四十七人と、市側から民秋市長、安田助役ほか担当部長が出席して行われました。
市は、今日まで、市民生活を守る立場から、保護者負担の軽減を目的に、国の基準より低い市独自の基準額を定めて保育行政を推進して進められました。

増え続ける市の人口。なかでも転入者の多くは若年層が占めています。そのうえ大半は共働き家庭ですから、保育を必要とする児童は必然的に増加してきます。
市では、このような家庭のために、保育行政を重点施策の一つとして、その整備充実をはかってきました。
しかし、年ごとに増加する超過負担などにより、このままでは、十分な保育行政を推進できない事態に追い込まれ、保育料の適正化を検討しなければならぬことになりました。

増大する保育所運営費

保育所の運営費は、国がその割合は年ごとに増加し、保育料を差し引いた額の十分の八が国の負担、十分の一が市の負担、十分の一が市の負担と定められています。
ところが、昭和四十九年度(決算見込み)においては、保育所年間所要経費の一九パーセントを国が負担し、府は二パーセント、保護者負担は一パーセント、残り六八パーセントを市が負担しています。さらに昭和五十年年度(当初予算)は、保育所年間所要経費の一六パーセントを国が、二パーセントを府が、一〇パーセントを保護者が負担し、残り七二パーセントが市と、



市民体育大会に多数ご参加を

ごあいさつ 市長 民秋 徳夫
さわやかな秋の好期を迎え、ここに第4回市民体育大会を挙行できますことは誠に喜ばしく、皆様とともにご祝福いたします。
平素は、向日市の社会体育振興のために、ご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。
さて、年に一度のこの大会は、スポーツを通じて、皆様のご健康と相互の親睦を図り、進んで明るいまちづくりの一助になることと確信しております。
皆様におかれましては、公私何かとご多用のことと存じますが、お繰り合せの上、多数ご参加下さいまして、秋の一日を楽しくお過ごしいただきますようお願いいたします。

第4回市民体育大会を開催します。スポーツの秋にふさわしいこの大会に、多数ご参加下さい。
日時・会場
10月5日(日)午前9時...競輪場
5日が雨天の場合は、12日(日)に順延。会場は、第2向陽小学校になります。
競技種目
男女ざる引き競走、女子数字合せ競走、混合500mリレー、男子800mリレー、アベック樽ころがし、男女障害物競走、女子400mリレー、スポーツ少年団演技、フォークダンス、親子孫三代リレー、混合綱引き、男子ピンつり競走、混合紅白球入れ、男子800m競走



熱戦を繰り広げる体育大会(昨年の大会から)